

■お問い合わせ先 名瀬公共職業安定所 ☎ 0997 - 52 - 4611

令和3年4月から改正高年齢者雇用安定法が施工されます

鹿児島県の高齢化率は全国平均をはるかに上回っており、健康で就労を希望される高年齢者も多くおられる中、人手不足の情勢も相まって高年齢者の労働力活用の重要性は高まっています。

高年齢者の雇用の安定等に関する法律が改正され、令和3年4月1日より施工される内容についてご説明します。

現行制度では、①65歳までの定年引上げ、②65歳までの継続雇用制度の導入（子会社・関連会社等によるものを含む）、③定年廃止、のいずれかの措置により65歳までの高年齢者雇用確保措置が義務となつています。

これを前提として、改正法では①70歳までの

定年引上げ、②70歳までの継続雇用の制度の導入（特殊関係事業主に加えて他の事業主によるものを含む）、③定年廃止、④高年齢者が希望するときは、70歳まで継続的に業務委託契約を締結する制度の導入、⑤高年齢者が希望するときは、70歳まで継続的に「事業主自ら実施する社会貢献事業」または「事業主が委託、出資（資金提供）等する団体が行う社会貢献事業」に従事できる制度の導入、のいずれかの措置を講ずる努力義務が設けられます。（④、⑤の雇用以外の措置については、労働者の過半数を代表する者等の同意を得たうえで導入する必要があります）

詳しくは、名瀬公共職業安定所にお尋ねください。

改正高年齢者雇用安定法が令和3年4月から施行されます

65歳までの雇用確保
(義務)



70歳までの就業確保
(努力義務)

70歳までの就業確保措置を講じることが「努力義務」となったことに伴い、再就職援助措置・多数離職届等の対象が追加されます。



~新型コロナウイルス感染症に心で負けない行動を!~



- 偏見や差別を許さない。
- デマや誤った情報に惑わされない。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染へのおそれや不安などから、感染者やそのご家族に対する誹謗・中傷、インターネット上での悪質な書き込み等が行われています。

また、医療機関や介護施設、物流・交通事業、小売業等で働いておられる、私たちの命を守り、暮らしを支えてくださっている方々とそれぞれのご家族、県外から来られた方などへの差別的言動も発生しています。

さらに、感染防止のために、休校や営業自粛、施設の消毒の徹底など、誠実な対応をとってこられた学校、商業施設や飲食店等の事業所に対する、いわれない非難が行われているほか、憶測によるデマや誤った情報が拡散されており、それぞれの業務や関係の方々の生活は、大きな影響を受けています。

このような人権を侵害し、仕事や暮らしを脅かす行為は決して許されるものではありません。

県民の皆様には、偏見や差別を行うことなく、デマなどに惑わされることなく、冷静に行動してくださるようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、誰にでも感染リスクがあります。差別や偏見、いじめ、SNSでの心ない書き込みなどは決して許されません。正しい情報に基づき、冷静な行動をお願いいたします。

闘う相手は人ではなくウイルスです。

町民一人ひとりが、お互いの立場に立ち、思いやりの心を持って、支えあいながら、この難局を乗り越えていきましょう。

- 差別や偏見に関する主な相談先 (全国共通)
- みんなの人権110番 ☎ 0570 (003) 110
- 子ども人権110番 ☎ 0120 (007) 110
- 女性の人権ホットライン ☎ 0570 (070) 810
- 外国語人権相談ダイヤル ☎ 0570 (090) 911

STOP! コロナ差別!



すべてを手織りで、
素敵な出会いのために

先人が受け継いできた
美しい大島紬をこれからも継承いでゆく。
島の美しさが染み込んだ
紬の素晴らしさを
多くの人に伝えるために。
1300年の歴史を、
これからも、私たちは紬いでゆく。

結ゆい を 紬つむ ぐ



伝統工芸「大島紬」を支える担い手募集。

瀬戸内町では、大島紬の振興を図るため、大島紬
技能養成所を設置し、技術指導を行っています。

町内に住む満16歳以上の方ならどなたでも大歓迎です♪

○養成期間は3年間。養成期間中は、奨励金も支給します

○歩合給の支給

※養成期間中は、織り賃の8割に相当する
歩合給を支給します。



Instagram
始めました！



@setouchi_tsumugi

紬組合で制作している小物



織工の制作活動として、紬の端切れを使った「メガネケース」や「がま口財布」の小物制作に取り組んでおり、海の駅2階の紬コーナーで販売しています。赤ちゃん命名の注文受付も。

紬組合の見学や体験は、☎ 72 - 3675

紬組合の情報は、「機の音ブログ」で検索



お問い合わせは、瀬戸内町大島紬協同組合 ☎ 0997 - 72 - 3675 へお気軽にお電話ください。

躍進賞、Bクラス優勝、総合優勝を総なめ！

町 駅 伝 「 大 湊 ・ 須 手 ・ 手 安 」 2 7 年 ぶ り 2 度 目 の 優 勝 ！ ！

2月7日(日)、第45回瀬戸内町駅伝競走大会が開催され、古仁屋小前を発着点とする10区間20・984キロのコースで各チームが競い合い、「大湊・須手・手安」チームが見事27年ぶり2回目の優勝を飾りました。

大会には11チームが出場。感染症対策として、開閉会式は行わず、町民には、人と人との間隔をあけての応援やマスク着用などと呼び掛けました。

レースは順位が目まぐるしく入れ替わる激戦となり、徐々に順位を上げた大湊・須手・手安が9区でトップに出てそのまま逃げ切りました。6、7、9区で区間賞、チームとしても前回のタイムを8分10秒縮めて躍進賞を受賞。そして、Bクラス優勝も飾りました。



- 順位【総合】
- ①大湊・須手・手安
 - ②瀬久井西③瀬久井東・清水④山郷⑤高丘⑥春日⑦実久⑧船津⑨篠川⑩松江⑪宮前

序盤戦5連勝と奮闘！！

明生 関、大相撲 1 月 場 所 8 勝 7 敗 で 勝 ち 越 し ！



大相撲1月場所において、本町阿室釜出身の明生関(25歳・東前頭七枚目※2月時点)が8勝7敗の成績で勝ち越しました。

▽以下、明生関のコメント
「コロナの影響もあり、場所前に思うような稽古を積むことができなかつた中で、前半戦を攻める相撲で連勝することができたことは非常に良かったです。続く後半戦はあまり良い結果を残すことはできませんでしたが、1年ぶりの結びの一番と、初めてのこれより三役を経験できたので、この経験を来場所以降に繋げていきたいです。応援よろしくお願いします」
来場所も明生関の活躍を応援していきたいでしょう！

「町の感染症対策に役立ててほしい」

奄 美 地 区 郵 便 局 長 会、 町 へ 消 毒 液 1 0 万 円 分 寄 贈 ！



1月27日(水)、奄美地区郵便局長会から本町に新型コロナウイルス感染症対策用の消毒液10万円分が寄贈されました。九州各地域の郵便局長会では例年、地域貢献活動の一環としてスポーツ大会などを主催していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施できず、各地区で代わる活動を検討し、今回の寄贈に至ったとのこと。瀬戸口克理事は「コロナ禍で消毒液を有効に活用いただき、町の感染蔓延防止に役立ててほしい」と話しました。寄贈していただいた消毒液は、町内の公共施設等で利用する予定です。

高校生、ITスキルを学ぶ♪

古仁屋高校で「プログラミング古教室」が始まりました！！



古仁屋高校で1月12日(火)1年生38人を対象に「プログラミング教室」が開かれました。

これは、町の将来を担う人材を育成することを目的に町の助成を受けて開催する全6回6時間の授業で、初回となる今回はプログラミングの仕組みなどの基礎を学びました。講師は奄美情報処理専門学校長の福山洋志さんが務め、授業では福山さんがプログラミング言語の仕組みを説明した後、生徒たちはスロットゲームを作成するという課題に協力して取り組み、ITスキルの習得に励みました。



加計呂麻島

「島の保健室」活動報告 その五



「島の保健室」に
加計呂麻島に
が開設して、3
年目になりま
した。「チーム
せとうち我が
事・丸ごと支え
愛事業」の一環
として、困りご
との解決サポー
トをしていま
す。少しずつ加
計呂麻島住民
の方には、声
をかけてもら
えるようにな
りました。が、
もっと知って
もらえるよう
に、活動を介
紹したいと思います。

今回は「訪問看護」についてお話したいと思います。へき地診療所の看護師として訪問看護も行っています。訪問看護は、聞きなれない人も多いと思います。訪問看護とは、病気や障害があっても、住み慣れた自宅で自由に生活したい。そんな思いを看護の側面から支援するサービスです。安心して毎日を過ごすために、医師との連携・健康状態の管理とサポート、在宅療養をより快適にするためのアドバイスなどの支援を行います。訪問看護は誰でも受けられる支援ではありませんが、保健室事業を通じて必要なサービスだと感じていました。医療資源が限られる離島では、重要なサービスです。島の保健室で掲げている「今よりちょっと安心して暮らせる」の『安心』と重なります。本島側には訪問看護の事業所が3か所あります。現在は加計呂麻地区にも支援が広がり、利用している人も増えたと聞きます。サービスの必要性を把握し、サービス提供者との連携を図る、時には新しい社会資源の創出も保健室事業の一つです。加計呂麻島での訪問看護は、その事業の形ではないでしょうか。

最後に、島の保健室を開設し、もうすぐ3年になります。私事ではありますが、3月末で加計呂麻島を離れることになりました。開設前から町内外の多くの方々にお世話になり、事業を継続することができました。そして何よりも加計呂麻島の人たちには公私ともに大変お世話になりました。ありがとうございました。

島の保健室事業は今後も継続されます。今までと同様、島民に寄り添い、安心して暮らしていけるように支援していきますので、これからもよろしくお願いいたします。